（小６４）鹿児島市立福平小学校

令和５年３月２４日

# 令和４年度　学校評価　自己評価書（３学期）

## 1　学校の重点目標

○　学びに向かう力を高める授業の推進及び“活用する力”を支える基礎学力の確実な定着を図る。

○　互いの「よさ」を認め合い，一人一人が大切にされ，自己肯定感が伸長される教育活動の推進。思慮深さを育てる“くつそろえ”・呼名後の返事。

○　高い安全意識とたくましく生きるための健康や体力を育む教育活動の推進。むし歯治療率 80%以上。

## 2　課題と改善策

| | 評価項目 | 職員 | 評価結果と改善方法 |
|---|---|---|---|
| 学校組織力及び資質向上 | 1　学校教育目標の具現化<br>2　校務分掌の遂行<br>3　専門性を高める研修<br>4　各種便り HP での情報発信<br>5　服務規律の遵守<br>6　業務改善 | 3.1<br>3.4<br>2.8<br>3.2<br>3.7<br>3.1 | ・　定期的に HP の更新ができるように担当職員と教頭が連携をとって情報発信に努める。<br>・　全職員の業務改善の意識化をさらに図ることが必要である。 |
| 豊かな心の育成 | 1　「聴き方名人」としての傾聴<br>2　あいさつの率先垂範<br>3　楽しい学校づくり<br>4　ボランティア・JRC の推進<br>5　清掃活動 | 3.0<br>3.4<br>3.0<br>2.8<br>3.4 | ・　できている子供は認め，できていない子供には粘り強く指導し続け，自分から進んで挨拶ができる子供を増やしていく。<br>・　掃除用具の使い方，掃除の仕方を徹底できるよう教師も一緒に汗を流し，見届けや声掛けに努める。 |
| 学力向上 | 1　達成目標の設定と子どもが満足する学習指導<br>2　学習のめあて・まとめの板書<br>3　互いに説明する活動の設定<br>4　一人学びと発表で思考力・判断力・表現力<br>5　ドリルの徹底<br>6　ICT 活用、プログラミング教育の開発<br>7　主体的な家庭学習 | 3.1<br>3.2<br>3.0<br>3.0<br>3.1<br>2.9<br>3.0 | ・　ICT 活用と効果的な板書の仕方の関係性の研修をさらに深めていきたい。<br>・　終末１０分間のドリル徹底の時間を確保するために，さらに授業を創意工夫していく。 |
| 体力向上・健康・安心・安全 | 1　規則正しい生活<br>2　なわとびを中心とした体力づくり<br>3　感染症対策の徹底<br>4　下校指導や安全指導での危険回避<br>5　スマホ・タブレット・ゲームのルール作りの啓発 | 2.9<br>3.1<br>3.3<br>3.0<br>2.7 | ・　どの学年も発達段階に合わせたなわとび運動の目標を設定し，継続的な取組ができた。<br>・　スマホやタブレットの使い方については，ＰＴＡ主催の講演会等を開いて，保護者と一緒に危機感をもって指導していけるような工夫が必要である。 |

## 3　次年度に向けての取組

○　力をつける４つの共通実践事項に基づく学習指導法の改善を推進し，学びに向かう力を高める授業，基礎学力の確実な定着に努める。

○　問題行動や登校しぶりへの早期対応に努める。児童の実態を把握し，的確な目標を設定し，見届けたり振り返ったりする時間をきちんと設け，「当たり前のことが当たり前にできる」指導に繋げていく。